

2009年度

科目名	マスコミ論B		
担当教員	小川 丈治		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	15110
開期	後期	講時	月曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	映像作品の可能性		
目的と概要	「マスコミ論」は新聞、雑誌、放送、映画などのメディア(Media=媒体)を通じて、大量の情報を不特定多数の人々に伝える行為(Mass Communication=マスコミュニケーション、略してマスコミ)を論じる学問です。この情報を表現する手段は、以前は言語が主でしたが、最近では映像に比重がかかっています。学校では言語(日本語、外国語)の勉強はしてきましたが、映像の見方や描き方の勉強はなぞりです。これではいけません。講義では映像作品の制作とその可能性に焦点を当ててお話しします。		
成績評価法	採点は学年末のレポート内容70点、平常点30点で計算します。		
テキスト	指定しません。毎回プリントを配付します。		
参考書	講義のたびに紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	<注意>「マスコミ論」を2単位だけとる人は、なるべく「マスコミ論A」(前期)を履修して下さい。B(後期)は前期の講義の応用編的内容です。		
講義計画			
<p>&lt;映像作品の制作現場&gt; 第8講 アニメの制作現場 第9講 (ドキュメント②)</p> <p>第1講 アメリカの映画制作 第10講 CG表現の歴史 第2講 コマーシャルの制作現場 第11講 (ドキュメント)</p> <p>&lt;虚構としての映画の可能性&gt; 第12講 CG表現の可能性① 第13講 「ジュラシックパーク」</p> <p>第3講 アニメの歴史概観 第14講 CG表現の可能性② 第4講 アニメ作品を観る① 第15講 「アイ,ロボット」 第5講 「もののけ姫」</p> <p>第6講 アニメの制作現場 第7講 (ドキュメント①)</p> <p>&lt;備考&gt; 毎回所蔵のビデオや写真資料を多用し、言葉と映像の両方を使って、講義の主題に迫ります。講師は元TVディレクター。南米ペルーに滞在3年。</p>			